日本型IRについて

有限責任 あずさ監査法人

平成29年10月

本日の説明内容

1. IRとは何か、IRとカジノの違い

- (1) IRとは何か
- (2) IRの海外事例
- (3) ギャンブルに係る負の影響の懸念
- (4) IRに関する疑問

2. 北海道観光について

- (1) 北海道観光の現状と課題
- (2) 北海道型におけるIR

1.IRとは何か、IRとカジノの違い

(1) IRとは何か

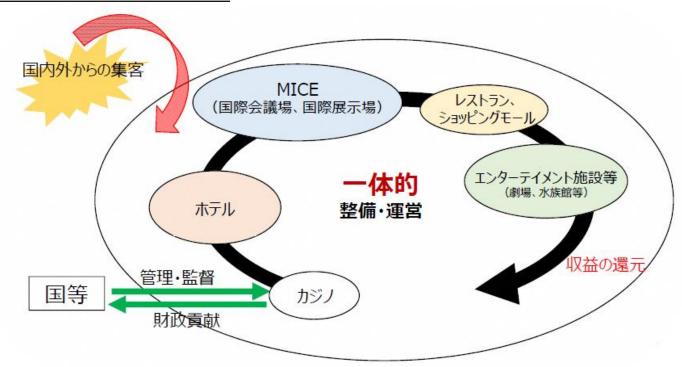
- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (1) IRとは何か IRの定義(1/2)
- ➤ IR (Integrated Resort) は、「統合型リゾート」と訳される。
- ➤ 「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」(IR推進法)において、 次のように定義されている。

「IR」の定義(IR推進法2条)

1 カジノ施設+ノンゲーミング施設が一体

2 民間事業者が設置及び運営

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (1) IRとは何か IRの定義 (2/2)
- ▶ IRは、カジノ施設とノンゲーミング施設 (ホテル、MICE、レストラン・ショッピングモール、 エンターテイメント施設等)が一体となっている施設群。
- ▶ カジノの収益により、大規模な投資を伴う施設の採算性を担保。
- 民間事業者の投資により、国内外からの集客及び収益を通じた観光地域振興、新たな財政への貢献が期待される。



(出典)特定複合観光施設区域整備推進本部事務局「IR推進会議取りまとめ(概要)~「観光先進国」の実現に向けて~」平成29年8月

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (1) IRとは何か 想定されるノンゲーミング施設構成

想定される カジノ以外の中核施設	概要	
MICE施設	国際会議場・展示場等(詳細は次ページで説明)	
レクリエーション施設	劇場、博物館、美術館その他のレクリエーション施設、 レストラン、ショッピングモール等	
各地へ観光客を送り出す 機能を有する施設	日本国内の旅行を提案・アレンジする施設等	
ホテル等	宿泊施設	

(出典) 第2回 特定複合観光施設区域整備推進会議

配布資料3-1 「特定複合観光施設の構成施設、設置・運営の一体性の原則、特定複合観光施設と区域との対応関係に関する論点」

1. IRとは何か、IRとカジノの違い

(1) IRとは何か - MICEとは (1/2)

M eeting

企業等のミーティング (会議)

Incentive (Travel) 企業が従業員・代理店等の表彰などの目的で実施する旅行(報奨・研修旅行)

Convention

国際団体、学会、協会が主催する総会、学術会議等

Exhibition /Event 文化・スポーツイベント、 展示会・見本市

MICEの特徴

- ・MICE利用者は観光客より滞在期間が長く、 平均消費単価が高い(高い経済効果)
- ・好印象を抱くと、プライベートでの再訪問が期待

国内の既存施設の問題点

・MICE施設とホテルが物理的に離れた場所にある。 (札幌を始めほとんどの施設に共通の問題。)

IRとの親和性

- ・希少性のあるカジノがMICE誘致のポイントに。
- ・ビジネス利用は季節による変動を受け難く、ホテル 稼働の平準化・稼働率の向上が期待。



日本の統合型MICEの代表例

- ・パシフィコ横浜(MICE施設)
- ・横浜インターコンチネンタルホテル

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (1) IRとは何か MICEとは (2/2)

例)ある企業が秋口に子会社(海外含む)社長会議をIR/MICEで開催

POINT

会議場施設・セミナー会場はホテルに 併設。一体運営のため、施設間の移動・ 手続はワンストップで最小限。



POINT

翌朝IR隣接のゴルフ場でプレーを楽しんだ後は、 道内観光地に向かい北海道を満喫して帰宅。 満足度が高い旅行体験を提供することで、次回の プライベートでの再訪問を誘因。



POINT

空港から会議会場までは、IRのシャトルバスで移動。国外から多数の来場者が期待される。

POINT

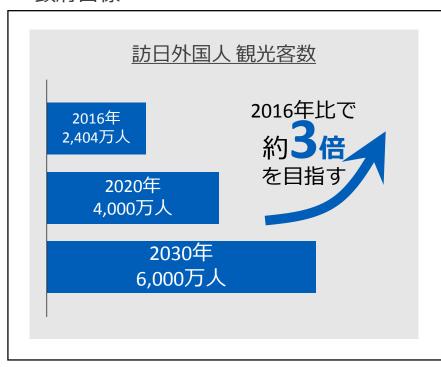
ホテルのレストランでの夕食後は、併設の劇場で ミュージカルを鑑賞したり、カジノ、バーで楽しんだ り。大人向けのナイトエンターテインメントを満喫。

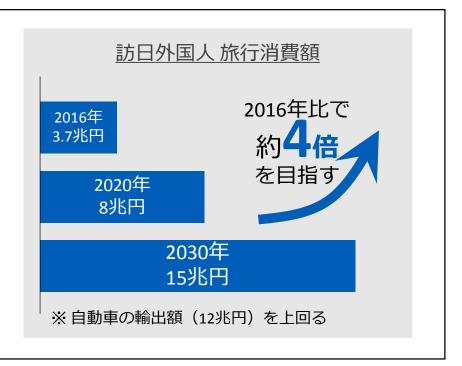
1. IRとは何か、IRとカジノの違い

(1) IRとは何か - 観光立国に向けたIRのチャレンジ

- ▶ 日本政府は観光産業を新たな基幹・成長産業として、訪日外国人観光客数(インバウンド)需要を増加させ、「観光立国」を目指している。
- ➤ 海外の成長市場を取り込むため、クリーンで魅力ある「日本型IR」の整備推進を目指している。

■政府目標





(出典) 日本経済再生本部「未来投資戦略 2017」 (2017年6月)

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (1) IRとは何か 日本におけるカジノの導入
- ▶ 日本は「最後の未開拓大規模マーケット」とされている。

POINT

1

世界150以上の国でカジノを含むギャンブルが合法化(日本も公営賭博等は合法化)

POINT

2

日本はG8で唯一カジノが導入されておらず、最後に残された最大規模の市場。当初認定対象区域は限定的に運用されることもあり、後背地の観光資源と上手く連携することで国際競争力があるIR施設を整備することができれば、魅力的な大規模投資プロジェクトとして期待。

POINT

3

近年、世界各国で観光振興・外貨獲得等を目的としてIR施設の開発が進行。一方で、新規開業に伴う競争激化もあり、今後は国際競争力あるIRが求められると想定

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (1) IRとは何か 法整備の状況
- ▶ 2016年12月、IRの設立を推進する基本法である「IR推進法」が公布・施行された。
- ▶ 1年以内にIRの詳細な内容を規定した「IR実施法」が策定される予定であったが、2017年9月28日 に衆議院が解散された影響で、来年へずれ込む見込みとなった。
- ➤ IR実施法の前に、「ギャンブル等依存症対策基本法」が策定される予定である。

IR推進法

(特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律)



観光・地域振興等を目的としたIRの 基本理念・方針・枠組



同法に基づきIR推進本部・IR推進会議が 設立され、2017年8月に議論がまとめられた



IR実施法



IRを整備するための具体的な規制等を定めた法律



IR推進本部での議論をベースにして、 IR実施法案の策定作業が進められている

ギャンブル等依存症対策基本法



カジノだけでなくパチンコ等も含めた「ギャンブル等」依存症の予防や治療、支援といった対策を定めた法律



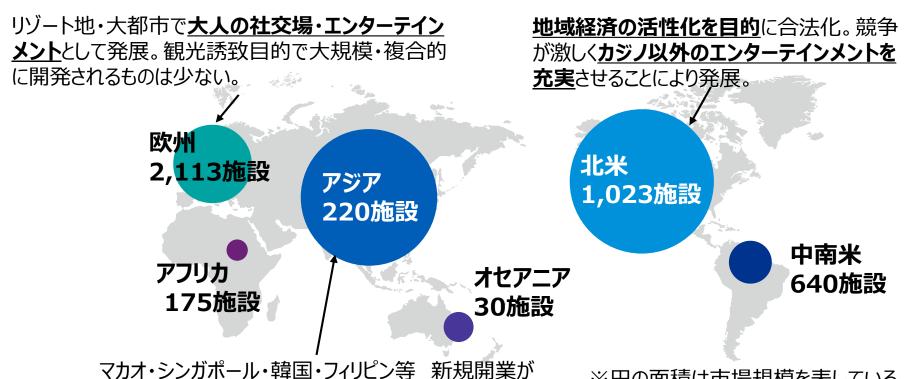
IR実施法よりも前に策定される予定

(2) IRの海外事例

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (2) IRの海外事例 世界のカジノ施設数及び市場動向

■世界全体の市場規模(推定)

- 約1,800億USドルと推定(過去数年で50%以上増)
- アジア新規開業相次ぐが競争激化、中国人需要減の懸念も。



※円の面積は市場規模を表している。 相次ぐ。マカオ等、中国人富裕層需要を背景に高 収益を上げている。

出典: 施設数はCasino City Press "Global Gaming Almanac 2014 Edition" 世界市場動向はGlobal Gaming Outlook, The casino and online gaming market to 2015,2011/12 PWCを参考に推定

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (2) IRの海外事例 シンガポールの 2 つのIRの事例

シンガポールのIRの例

マリーナ・ベイ・サンズ

【事業者名: Marina Bay Sands Pte. Ltd.】





コンセプト: ビジネス&大人の エンターテインメン ト

リゾート・ワールド・セントーサ

【事業者名: Resorts World at Sentosa Pte. Ltd.】



コンセプト: ファミリーリゾート

(出典) 第4回 特定複合観光施設区域整備推進会議 配布資料

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (2) IRの海外事例 シンガポールの 2 つのIRの事例

マリーナ・ベイ・サンズ

- ▶ 3棟の高層ビルを屋上で連結した構造のホテルを中心に、カジノやMICE施設、ショッピング モール、美術館等が併設されている。
- ▶ マリーナ・ベイ・サンズホテルの屋上、地上57階にある世界最大の屋上プール、「インフィニティ プール」が有名であり、多くの観光客が訪れる。
- マリーナ・ベイ・サンズホテル



■インフィニティプール



(出典) マリーナ・ベイ・サンズ ウェブサイト (https://jp.marinabaysands.com/)

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (2) IRの海外事例 シンガポールの 2 つのIRの事例

リゾート・ワールド・セントーサ

- ▶ シンガポールのセントーサ島にあるIRで、東京ドーム約10個分の広大な敷地を有する。
- ▶ カジノやホテル、MICE施設等に加え、世界的なテーマパークである「ユニバーサル・スタジオ・シンガポール」や世界最大級の水族館「シー・アクアリウム」が一体となって運営されている。

■ユニバーサル・スタジオ・シンガポール



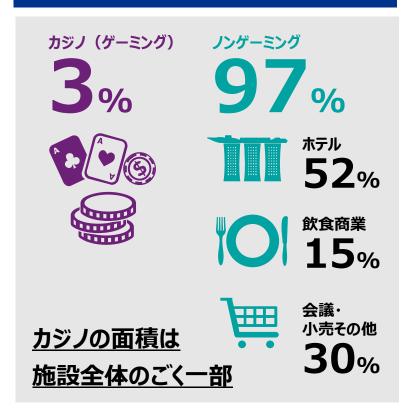
■シー・アクアリウム



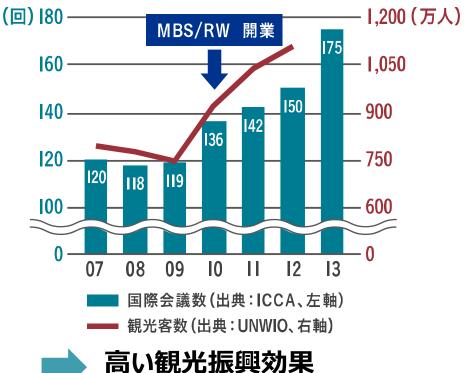
(出典) リゾート・ワールド・セントーサ ウェブサイト (http://www.rwsentosablog.com/)

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (2) IRの海外事例 シンガポールに見るIRとその効果

マリーナ・ベイ・サンズ 面積割合



シンガポールにおける観光客数等の推移



間が配力減突が未 観光客数 **1.4**倍(1,040万人) 国際観光収入**1.8**倍(約2兆円)へ (3) ギャンブルに係る負の影響について

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (3) ギャンブルに係る負の影響について
- ➤ IRは高い観光振興効果が期待される一方でギャンブルであるカジノを含んでいることから、 様々な負の影響が発生する懸念がある。これらも考慮した上でIRを検討する必要がある。

カジノの現金の動きの追跡は困 難を伴うことから、現金抜き取り・ イカサマを行われる懸念

> スキミング、 従業員 犯罪

ギャン ブル 依存症

既に日本において、公営ギャン ブル・パチンコによる依存症に苦 しむ人々存在

犯罪等により得られたおカネをカ ジノでの受払いを通して、表の 世界で使えるおカネに変えてし まう

> マネーロン ダリング



青少年 悪影響

判断力が未熟な青少年がギャ ンブルに触れることは成人よりも 高いリスク有

暴力団等反社会勢力がカジノ の運営や委託に介入し、カジノ が犯罪の資金源に



反社会 勢力介入



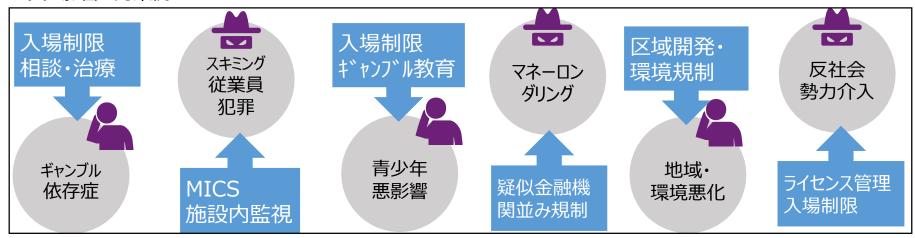
地域• 環境悪化

IR・カジノ周辺地域の治安・風 紀が悪化する懸念

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (3) ギャンブルに係る負の影響について 対策
- » 海外のカジノ規制では「責任あるゲーミング」の基本理念の下、ギャンブルの負の影響に対して様々な対策が講じられ、一定の効果が挙がっている。
- ▶ 日本においては、各国の取組みを参考にした「世界最高水準」の規制の導入が検討されている。
- ■責任あるゲーミング (Responsible Gaming) とは?

国・自治体規制機関 IR事業者 顧客 ✓ 法規制・ライセンス・モニタリングにより、 事業者を統制 + 官も直接対策実施 ✓ 社会的懸念事項をコントロールできなければIR 事業参入・維持は不可(義務 + 自主的取組)

■負の影響の対策例



- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (3) ギャンブルに係る負の影響について ギャンブル依存症対策・青少年保護

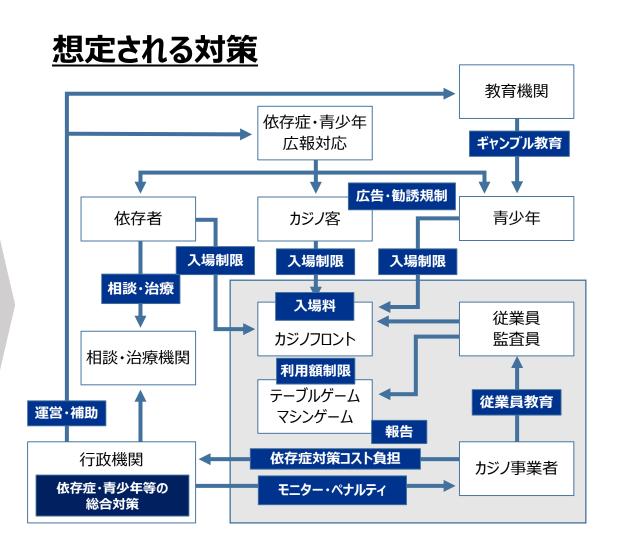
リスクの内容

ギャンブル依存症

ギャンブル依存症は精神疾患であり、依存症者の生活・経済的破綻等を引き起こすリスク

青少年保護

判断能力が未成熟の 青少年がギャンブルに 接してしまうリスク



- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (3) ギャンブルに係る負の影響について 想定される反社会的勢力の排除方法

徹底的な企業・個人(役員・大口株主等)に対する徹底した背景調査が実施(個人の場合、本人 だけでなく家族も対象の可能性)

許認可

事業者 ライセンス審査

委託先 ライヤンス審査

従業員 ライセンス審査

機器・ゲームルール許認可

情報共有

犯罪歴・反社情報の共有

背景調査



反社会的勢力の 周辺業務への参入 (JV参画、委託先) の排除

反社会的勢力の カジノ内犯罪行為を 防止・摘発

入場制限 施設内の監視

ID認証

監視カメラ・ 目視等

警察・検査官 等の常駐巡回

(4) IRに対する疑問

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (4) IRに対する疑問

疑問1 IRの導入によって、どんな効果があるの?

疑問2 IRに何故、カジノが必要なの?観光施設だけで良いのでは?

疑問3 IRをやっても、外資系企業が儲けるだけなのでは?

疑問4 どのようなプロセスで日本にIRが導入されるの?

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (4) IRに対する疑問

<u>疑問1 IRの導入によって、どんな効果があるの?</u>

回答

IR導入は観光立国に向けた国際観光競争力向上のエンジンとして位置づけられています。IRの投資・運営に伴い、地域・産業振興に対する高い効果が期待されています。

IRが国際観光競争力 向上のエンジンとなる

- ◆ カジノ収益による魅力的なエンタメ施設、国際競争力ある会議場・展示場整備
- ◆ 日本観光ショーケース
- ◆ 日本観光の弱点強化
 - ✓ VIPも取込む高級滞在型リゾート
 - ✓ 成熟社会に相応しいナイトエンタメ

IRによる地域・産業 振興効果

- ◆ IR施設の建設・運営に伴う地域産 業経済効果、地元雇用創出
- ◆ 地域周遊観光の需要創出
- ◆ IRに関連する周辺地区開発、 ま ちの活性化
- ◆ 税金・納付金等による財政改善

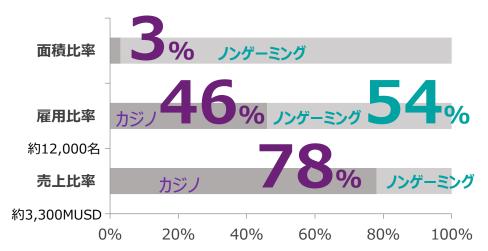
- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (4) IRに対する疑問

疑問2 IRに何故、カジノが必要なの?観光施設だけで良いのでは?

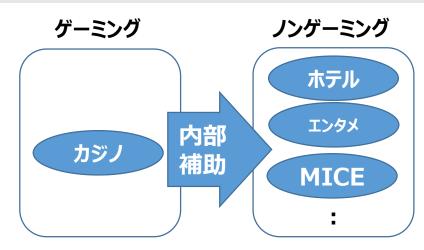
回答

カジノの高い収益力を活用すること(内部補助)により、魅力のあるノンゲーミング施設への投資・維持運営が可能になり、観光・産業振興効果が高い魅力的な施設を建設できます。カジノが無く、ノンゲーミングだけで行う投資額には限界があります。

カジノが与えるインパクト(マリーナ・ベイ・サンズ)



総投資額5,500MUSDを約4.4年で回収



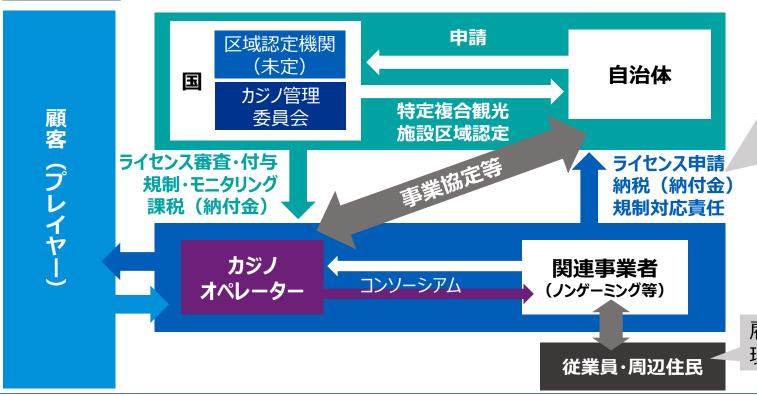
- ✓ カジノの収益を使って、ノンゲーミング単独では回収困難な投資が可能に。
- ✓ ラスベガスでは、カジノ間の競争に勝ち抜く ため、ノンゲーミングの魅力向上により差別 化。

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (4) IRに対する疑問

疑問 3 IRをやっても、外資系企業が儲けるだけなのでは?

回答

魅力的なIRの導入のためには、カジノ・IRの運営ノウハウを有する外資系カジノオペレーターの参入が必要と考えられますが、日本企業と協同して事業を行うことが想定されます。また、国・自治体からの様々な規制・制約の中で運営が行われ、納付金等によりその収益は社会に還元されることになります。



マネロン対策 反社対策 内部統制 依存症対策 入場規制・広 告規制対応 等

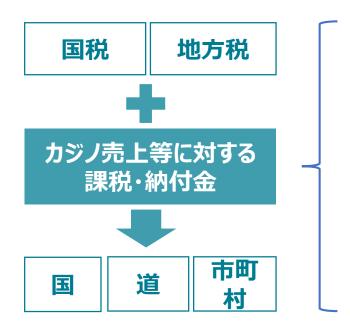
雇用拡大・周辺 環境の変化等

1. IRとは何か、IRとカジノの違い

(4) IRに対する疑問

(参考) カジノに対する税金・納付金の海外事例

カジノ施設は収益性が非常に高いため、諸外国の事例では、通常の税負担に加えてカジノ売上に対して特別な税金・納付金を課している。



	米国 ネバダ州	シンガポール	マカオ
カジノ売上に 対する課税	累進で最大 6.75%	一般 15% VIP 5% 更に消費税 7%上乗せ	39%
ゲーミング粗収益 (2013年度)	約1兆2,475億円	約4,930億円	約5兆4,196億円
ゲーミング税収 (2013年度)	約1,070億円	約2,245億円	約2兆1,163億円
税金等使途	一般財源 及び教育等	主として 一般財源	主として 一般財源

※上記に加え、特定資産税、ライセンス料等が課されている。

出典:ネバダ州ゲーミング管理局(NGCB)、Genting社アニュアルレポート、Las Vegas Sands社10-K、シンガポール統計局、マカオ賭博監督協調局(DICJ)、 ゴールドマンサックス証券、UBS証券

日本でもIR推進法の中で納付金の徴収が謳われており、その使途は観光振興、地域の振興、財政への寄与、社会福祉、文化芸術の振興等の公益のために充てることが検討されている。

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (4) IRに対する疑問

疑問4 どのようなプロセスで日本にIRが導入されるの?

回答

IRは民設民営ですが、自治体の申請に基づく国の認定区域について、限定的に設置されることになります。プロセスとして、自治体が事業者を選定した上で、その提案に基づいた具体的な事業計画を作成して国に申請し、国が当該事業計画に基づき区域を認定することが想定されています。



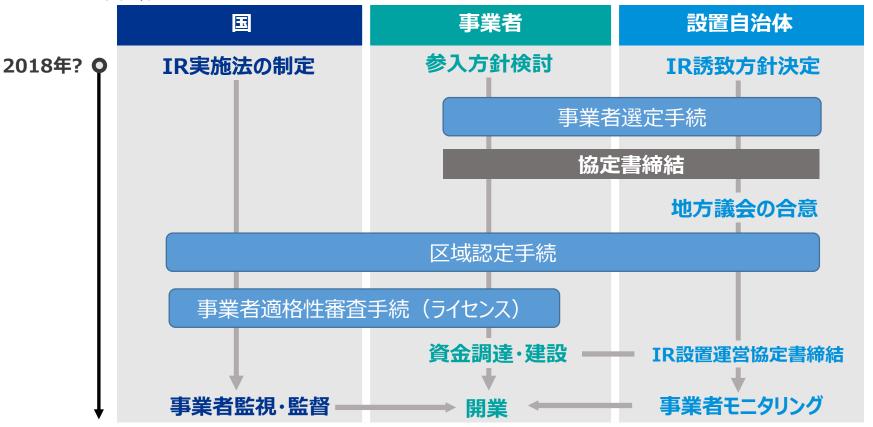
- ◆ 当初のIR区域数は、上限が 設定される予定 (2~3ヶ所からスタート?)
- ◆ 地元住民の理解、議会の合 意形成が重要

- 1. IRとは何か、IRとカジノの違い
 - (4) IRに対する疑問

(参考)IRの区域認定に至るまでの想定されるプロセス

設置自治体は区域認定上、重要な役割を担う。

- ✓ 公聴会等の地域の合意形成に向けた具体的なアクション
- ✓ 地域のインフラや周辺環境の状況等を総合的に勘案、 民間事業者の提案に基づく具体的な事業計画を作成

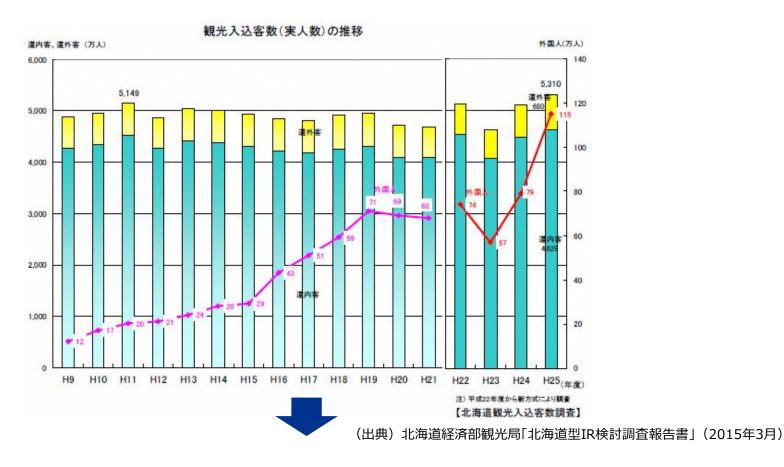


(1) 北海道観光の現状と課題

(1) 北海道観光の現状と課題 - ① 国内市場の縮小



観光客数は、アジア等の国際観光市場の成長を背景に外国人が大きく伸びている一方で、国内客は少子高齢化等による市場の縮小により伸び悩み傾向にある。



課題

外国人観光客の受入環境を整備し、海外市場からの誘客促進が必要。

(1) 北海道観光の現状と課題 - ② 繁忙期と閑散期のギャップ

現状

観光客数の季節格差が大きく、谷間対策、平準化が求められている。





(出典) 北海道経済部観光局「北海道インバウンド加速化プロジェクト」 (2017年2月)



新たな誘客視点により、MICE等による閑散期への集客、雇用の通年化の 実現が必要。

(1) 北海道観光の現状と課題 - ③ 観光客の道央圏集中

現状 交通体系、大都市札幌の存在等の要因で、道央圏に観光客が集中している。





(出典)北海道経済部観光局「北海道インバウンド加速化プロジェクト」 (2017年2月)



全道各地での観光資源の磨き上げ、二次交通の充実、長期滞在型の観光コンテンツ作りが必要。

(2) 北海道におけるIR

(2) 北海道におけるIR

■政府が考える魅力ある「日本型IR」



民間事業者ならではの創意工夫を活かし、①世界で勝ち抜くMICEビジネスの確立、 ②滞在型観光モデルの確立、③世界に向けた日本の魅力発信等により、「観光先進国」としての日本を実現

(出典)特定複合観光施設区域整備推進会議「特定複合観光施設区域整備推進会議取りまとめ~「観光先進国」の実現に向けて~」(2017年7月)

■ 仮に北海道がIRを誘致する場合…



- ➤ 自然と共存しつつも世界に誇る規模の MICEの建設用地の確保が可能と考える。
- ▶ 豊かな大自然、食、観光コンテンツ、歴 史・文化を有する北海道は、滞在型観光 の潜在的なポテンシャルを有すると考える。
- ▶ 外国人の間で既に観光地としてのブランド 力がある北海道は、IRによりさらに世界に 向けた魅力発信が可能と考える。*1 北海道経済部観光



*2 北海道経済部観光局「北海道インバウンド加速化プロジェクト」(平成29年2月)

ご清聴ありがとうございました。